

Mizuho Daily Market Report

2024/4/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	153.25	153.23	▲0.04	+1.61
EUR	1.0682	1.0643	▲0.0083	▲0.0194
AUD	0.6518	0.6467	▲0.0071	▲0.0112
SGD	1.3570	1.3614	+0.0083	+0.0127
CNY	7.2374	7.2373	+0.0003	+0.0041
MYR	4.7698	4.7705	+0.0227	+0.0230
THB	36.40	36.61	+0.00	▲0.04
IDR	15869	15845	+0	+0
PHP	56.54	56.54	+0.03	+0.02
INR	83.38	83.42	+0.22	+0.12
VND	25003	25031	+41	+69

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.522%	▲6.5 bp	+12.0 bp
日本(10年)	0.855%	▲1.6 bp	+6.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.359%	▲10.4 bp	▲4.0 bp
オーストラリア(5年)	3.915%	+1.6 bp	+16.8 bp
シンガポール(5年)	3.283%	▲4.2 bp	+15.4 bp
中国(5年)	2.105%	▲2.6 bp	▲7.2 bp
マレーシア(5年)	3.724%	+2.5 bp	+5.2 bp
タイ(5年)	2.370%	+0.0 bp	+10.0 bp
インドネシア(5年)	6.579%	+0.0 bp	+0.0 bp
フィリピン(5年)	6.545%	▲2.5 bp	+33.1 bp
インド(5年)	7.175%	+9.2 bp	+8.4 bp
ベトナム(5年)	2.130%	+4.0 bp	▲13.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,983.24	▲1.2%	▲2.4%
N225(日本)	39,523.55	+0.2%	+1.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,955.01	▲0.2%	▲1.2%
ASX(オーストラリア)	4,353.66	+0.7%	+0.9%
FTSTI(シンガポール)	3,216.91	▲0.3%	▲0.0%
SSEC(中国)	3,019.47	▲0.5%	▲1.6%
SENSEX(インド)	74,244.90	▲1.1%	▲0.0%
JKSE(インドネシア)	7,286.88	+0.0%	+0.0%
KLSE(マレーシア)	1,551.04	▲0.2%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,659.39	▲0.3%	▲1.3%
SETI(タイ)	1,396.38	+0.0%	+1.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,276.60	+1.5%	+1.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	297.87	+0.8%	+0.1%
金	2,344.37	▲1.2%	+0.6%
原油(WTI)	85.66	+0.8%	▲1.4%
銅	9,333.20	+1.3%	+1.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	151.60	—	153.40
EUR/USD	1.0640	—	1.0950
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3400	—	1.3630
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	36.98
USD/IDR	15580	—	15950
USD/PHP	55.00	—	56.80
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	24,600	—	25,100

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間の153円台前半で取引を開始。公示仲値決定のタイミングにかけて売りフローが出て、152円台後半まで下落。ただ、結局のところ153円割れの底堅さを確認した様相となっしまい、その後は終始bid地合いで153円台前半まで値を戻し欧州へ渡った。
アジア通貨は総じて下落。米利下げ期待が後退する中、アジア通貨は総じて対ドルで下落。シンガポールはMASが金融政策会合において現行の政策を据え置くことを決定したが、市場の反応は限定的となった。

海外市場のドル円は、欧州時間は153円台前半でもみ合い米州時間へ。米州時間朝方は中東情勢の不安が一段と上昇する中、リスク回避の債券買いと円買いの動きが相まって、152円台前半まで値を下げる。その後、153円台前半まで戻す場面も見られたが、続いて発表された米4月ミシガン大学消費者マインド指数(速報値)が予想を下回り、発表直後は再度152円台前半まで売られる。売り一巡後は、ミシガン大学5-10年先の期待インフレ率が予想を上回っている事が意識されてか、米金利が戻す展開に追従し、153円台を回復する神経質な値動きが続く。引けにかけてはじりじりと値を戻し、終盤は153円台前半反発しクローズ。

【金利】

米金利市場は、大幅低下。米州時間朝方発表の指標はまちまちな結果となるなか、本日は中東情勢への警戒感などから債券市場に逃避買いの動きが見られ、午前の取引で金利低下。買いが一巡すると売り戻しも見られ、後半から引けにかけては上昇が見られたが、前日終値比ではマイナスでの終了。

【予想】

本日のドル円は底堅い値動きを予想。米利下げ開始が後ろ倒しとなるとの見方に加え、中東情勢の緊迫化を背景としたドル買いが優勢となる中、引続きドル円は底堅い値動きとなるものと予想。

【本日の予定】

(日本) 2月 コア機械受注
(アジア) 2月 NZ 純移住者数
(アジア) 2月 フィリピン フィリピン労働者送金
(アジア) 3月 NZ ハフォーマンス・サービス指数
(アジア) 3月 インド 卸売物価
(アジア) 3月 インド 貿易収支
(アジア) 中国 MLF(1Y)
(アジア) 休場 インドネシア、タイ
(アジア) 北朝鮮の故金日成主席の生誕記念日
(欧州) 2月 ユーロ圏 鉱工業生産
(欧州) 2月 イ 一般政府債務
(欧州) 4月 英 ライトムーフ住宅価格
(欧州) 独 国債入札(6M)
(米国) 2月 企業在庫
(米国) 3月 小売売上高
(米国) 4月 NAHB住宅市場指数
(米国) 4月 ニューヨーク連銀製造業景気指数
(米国) IMF・世銀の春季会合(ワシントン)
(米国) 米イラク首脳会談(ワシントン)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。